

内 科 学

1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 熱田直樹

【科目担当者】

2 教育目標

(1) ねらい

学生は、学問の多様化に対応した国際水準の先端的神経研究の遂行に必要な神経内科学の専門知識と研究技術、および研究者としての態度を習得し、神経研究における指導的役割を担う能力を自己確立する。すなわち、臨床においては神経内科専門医としての標準化された神経学的診療技術を学修するとともに、各種神経疾患に対する専門的診療の網羅的実践を通して高度な臨床応用力を研鑽する。研究においては、トランスレーショナルリサーチを目標とした新奇性の高い研究のデザイン・実践を通して医学研究者としての学術探求的視点を涵養し、より上級のphysician scientistならびに次代の神経内科学教育を担う指導者／教育者としてのコンピテンスを習得する。

(2) 学修の到達目標

- ① 知識;学生は神経研究の遂行に必要な国際水準の先端的知识を駆使して、神経内科臨床に還元可能な研究プロジェクトを立案できる。
- ② 技能;学生は自己の研究プロジェクト遂行に必要な研究方法・技術を駆使することができる。
- ③ 態度;学生は普遍的研究倫理および自己の研究プロジェクト遂行に必要な研究倫理を遵守できる。
- ④ 技能;学生は習得した研究技術を応用して、立案した研究プロジェクトを遂行することができる
- ⑤ 態度;学生は自らが遂行した研究の成果を神経内科臨床に還元することができる。

3 授業内容

【講義】	高度な神経疾患診療の基盤構築を目的として、神経症候学、神経学的臨床検査診断学、神経治療学に関する詳細かつ最新知識を概説する。神経疾患克服を標的とした研究アプローチの方略を模索する能力の涵養を目的として、神経疾患の分子病態に関する最新の知見を概説する。
【演習】	講義により習得した臨床および研究に関する知識基盤を拡大し、さらに自己能力化することを目的として、各種神経疾患の診療を網羅的に経験し、適宜臨床および検査データの収集、分析を加えて関連学会に報告する。各疾患に関して研究的視点からの詳細な検討を指導者とともにを行い、特に関心の高い研究課題を創出して、綿密な研究計画を構築する。研究を遂行するにあたり必要な実験技術を習得する。
【実験研究】	演習により構築した研究計画および習得した実験的手法を用いて、神経疾患克服を目的とした独創的な新奇創出研究を遂行し、その成果を関連学会に提示する。

4 成績評価の方法・基準

神経学的診療能力、research mind の高さ、brainstorming の程度、研究の達成度を評価尺度とし、臨床神経内科医としての適性度、神経科学研究者としての適性度、神経内科指導者としての適性度を評価する。

5 教科書・参考図書

当該学術論文、各種実験指南書物など。

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

予習: 自らが研究標的とする神経疾患に関する研究論文を通読し, その新奇度, 論理展開を評価しておく。

復習: 授業で自らが習得した知識・技術を反芻し, 研究課題の発案, 遂行方法への応用を熟考する。

(1日3時間)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

神経疾患研究に関する論文作成を通して, 神経内科学分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力, 特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

課題遂行に当たっては, 常にフェイストウフェイスでディスカッションを行い, 過程の進捗を適正化する。

9 履修上の留意点

関心のある研究課題に positive 思考で没頭し, 挑む気持ちを常に持つことが肝要である。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	熱田直樹	月	13:00~14:00	大学病院中央棟内科外来35番 第2診察室	